

労福協 NEWS

2008.6 No.39

異議あり!

後期高齢者医療制度

今、75才以上の人を対象にした「後期高齢者医療制度」に対し、怒りの声、不信、不安の声が全国に吹き上がっています。

75才になるとこの制度により、子供や夫婦の扶養家族から強制的に切り離されてしまいます。

そして「介護保険料」と同じように、見直しのたびに値上げされるかもしれない「後期高齢者医療制度」の支払いを、75才を越えた全ての人が一人で負担することになったのです。

扶養家族を強制的に切り離された人の税金は高くなり、夫が先に75才になる妻は、無収入でも「国民健康保険」料を一人で負担していくのです。

財政削減先にありきの「後期高齢者医療制度」は、負担だけを求めるなど、中身を知れば知るほど欠陥だらけの制度です。

全国で吹き上がる

怒りや不信・不安の声

皆の力で
「後期高齢者医療制度」の
撤廃を実現しましょう!!



労 福 協

勤労者の「生活と福祉」・「雇用と就業」の 総合支援を!

…第24回定期総会開催…

徳島県労福協第24回(通算第34回)定期総会が、5月23日、徳島県労働福祉会館において、役員・理事、来賓、評議員等53名の出席のもと開催されました。

冒頭、加村連合徳島副事務局長を議長に選出、この後、主催者を代表して澁谷良臣労福協会長が挨拶を述べました。続いて来賓の挨拶に移り、飯泉嘉門徳島県知事代理・斎藤秀生商工労働部長、原秀樹徳島市長代理・小野木勝彦経済部商工労政課長、山下武志雇用・能力開発機構徳島センター統括所長より祝辞をいただきました。

引き続き、議案審議に移り、第1号議案「2007年度事業報告並びに会計報告について」(久積育郎専務理事)、第2号議案「2007年度会計監査について」(阿佐喜八郎監事)、第3号議案「2008年度運動方針(案)並びに予算(案)について」(久積専務理事)の報告と提案があり、第5号議案「理事・監事の選出について」では、第1回理事会を開催し、久積育郎氏を会長に選出するなどすべての議案が満場一致で承認されました。

2008年度の活動方針として、具体的取り組みは以下のとおりです。

1. 労働者福祉活動の充実強化をめざす。
2. 雇用就業支援活動を推進する。
3. 社会貢献活動を積極的に展開する。
4. 政策制度改善の活動を進める。
5. 新たな事業活動に取り組む。
「元気シニア」のサポート事業
6. 地域にライフサポートセンターを設置し、勤労者の暮らしをサポートする。
7. 公益法人改革への対応をすすめること。
8. 国際交流活動を積極的に推進すること。

新役員は次のとおりです。

〈2008年度徳島県労働者福祉協議会役員〉

役職名	氏名	所属
会長	久積育郎	日本労働組合総連合会徳島県連合会
副会長	大松長勝	徳島県共済生活協同組合理事長
//	藤原学	四国労働金庫常務理事
//	川越敏良	日本労働組合総連合会徳島県連合会会長
専務理事		会長が兼務
理事	枋谷旭	(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク専務理事
//	国見聖	徳島県民間産業労働組合連合会会長
//	小笠原幸雄	徳島県高齢・退職者団体連合会会長
//	小泉栄昭	全徳島建設労働組合(フレッセ)執行委員長
//	谷本通	徳島県職員生活協同組合専務理事
//	原田正一	徳島県生活協同組合連合会専務理事
//	小松義明	日本労働組合総連合会徳島県連合会事務局長
//	新居良雄	NPO徳島労働安全衛生センター理事長
監事	岡村睦喜	徳島県共済生活協同組合常務理事
//	阿佐喜八郎	四国労働金庫徳島営業本部長

【退任役員】

理事 澁谷 良臣(員外)
理事 河野 征三(徳島県職員生活協同組合)
監事 梅平 純也(徳島県共済生活協同組合)

【顧問就任】 澁谷 良臣(前会長)



連 合

格差是正を求め、2,000人が結集!



和・人権・労働・環境

第79回メーデーが5月1日、県下6会場（中部地区4/29）で盛大に開催され、約3,000人が参加、プラカード審査やデモ行進、スピード抽選会等が行われました。

徳島市・藍場浜公園での徳島中央メーデーには、各構成組織から2,000人が参加。高根会長代行の閉会あいさつ、議長団に沖成・富田副会長が選出され、主催者を代表して川越会長は「今回のメーデーは勤労者そして国民・県民の怒りに満ちた『怒りのメーデー』だ。08春闘は、過去最高益という企業実績にありながら、昨年末からの原油高や原料高、アメリカ経済の減速などを背景に、格差是正と底上げにはほど遠い結果となり、県内中小においても昨年水準を下回る厳しい状況だ。一方、食料品を中心に大幅な値上げラッシュは家計を圧迫、道路特定財源の暫定税率の再引き上げや後期高齢者医療制度の導入で、命と生活のセイフティーネットが崩壊の危機に瀕している。暫定税率を復活させた与党のやり方は国民を無視している。今こそ私たちは怒りを結集し、声を大にして、希望のある明日の社会をつくるため、そして責任ある政治体制を築くため、早期解散、衆議院における与野党逆転と政権交代をめざして、総力を結集しよう」と力強く訴えました。

続いて、来賓として木村副知事、福祉事業団体（澁谷労福協会会長）、民主党・仙谷・高井代議士、中谷参議院議員、社民党・前川県連副代表、連合推薦議員団を代表して庄野県議から、



それぞれあいさつを受けました。

その後、2008春季生活闘争未解決組合を支援する特別決議、メーデーの祝日化を求める特別決議、良質な公共サービスの確立を求める特別決議、安心と信頼の社会に向け、政治と政策の転換を求める特別決議、の4本が提案され、それぞれ全体の拍手で採択されました。続いて、「すべての労働者が立ち上がり、格差是正を求めて、力強く訴えていこう」などとするメーデー宣言(案)を小松事務局長が提案、全体の拍手で採択されました。

その後、プラカード審査結果発表(15本応募)が行われ、メーデー大賞・徳島



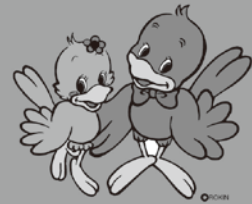
市農協労組、優秀賞・四国電力労組、努力賞・県教組に賞品が贈られました。

河村副会長の閉会あいさつ、最後に川越会長の音頭で団結ガンバローを三唱した後、藍場浜公園－東新町－両国本町－元町のコースをシュプレヒコールしながらデモ行進しました。デモ終了後、参加者に限ってのスピード抽選会を行い、多数の賞品が用意されていたこともあって大好評でした。参加していただいた組合員の皆さん、大変ご苦労さまでした。



ろうきん

四国ろうきんは、 はたらく人のための 金融機関です。



勤労者なら、どなたでもご利用いただけます。

ろうきんの商品やサービスなど業務内容は、一般の金融機関とほとんど変わりません。しかし、「目的」「運営」「運用」が違います。

はたらく仲間が つくった金融機関

ろうきんは、労働組合や生活協同組合のはたらく仲間が、お互いを助け合うためにつくった共同組織の金融機関です。



営利を目的と しない金融機関

ろうきんは、労働金庫法というルールに基づいて、営利を目的とせず公平かつ民主的に運営されています。



生活者本位に 考える金融機関

はたらく人からお預かりした資金は、はたらく人たちの大切な共有財産として、はたらく仲間とその家族の生活を守り、より豊かにするために役立てられています。

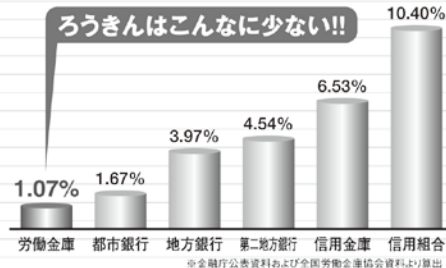


安心・安全の 四国ろうきんです。

〈四国ろうきん〉のように、国内業務のみを行う金融機関の自己資本比率は、法令で4%以上(国内基準)であることが求められています。

〈四国ろうきん〉の自己資本比率は**13.29%**
※2007年3月末
となっており、安全性が高い経営内容となっています。

■金融業態別のリスク管理債権比率



http://www.shikoku-rokin.or.jp

徳島ローンセンター TEL 088-634-1000 徳島市中島田町1丁目11-1

徳島支店 TEL 088-623-1111
徳島市昭和町3-35-1

鳴門支店 TEL 088-685-2883
鳴門市撫養町南浜字東浜376

阿南支店 TEL 0884-22-2132
阿南市富岡町トノ町71-1

池田支店 TEL 0883-72-0399
三好市池田町サラダ1785-4

藍住支店 TEL 088-641-1112
板野郡藍住町勝瑞字東勝地21-1

鴨島支店 TEL 0883-24-3113
吉野川市鴨島町鴨島229-4

全 労 済

おかげさまで全労済徳島県本部は 創立50周年を迎えました。

〈創立50周年記念式典・祝賀会報告〉

去る2008年5月20日、徳島グランヴィリオホテルにて、徳島県知事をはじめ多くの来賓・行政・マスコミ・労働事業団体・協力団体の皆さまにご参加いただき、創立50周年記念式典および祝賀会を開催いたしました。

記念式典では、約50名のご来賓と約70名の協力団体の方々をお招きする中、飯泉嘉門徳島県知事から非営利団体の活動についてのご評価を、川越敏良連合徳島会長からは労働福祉活動を支える役割としての全労済に対する期待を、石川太茂津全労済本部理事長からは全労済徳島

県本部への期待を込めた激励のご祝辞をいただきました。

また、「皆さまの支えのおかげで50周年を迎えることができた、今後も次世代により良い形で継承できるように頑張りたい」と大松長勝全労済徳島県本部理事長が決意を新たに挨拶を行いました。

全労済徳島県本部は次なるステップである100周年に向けてさらなる助け合いの輪を広げていく所存です。これからも皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。



【全労済徳島県本部大松理事長】



【飯泉徳島県知事】



【連合徳島川越会長】



【全労済本部石川理事長】

記念講演 一生協の精神を学ぶいい機会

「鳴門市賀川豊彦記念館」の田辺健二館長をお招きし、「賀川豊彦再評価・21世紀の日本のグランドデザイナー」と題し、徳島にゆかりのある協同組合の父、賀川豊彦の偉業の数々と今後の生協のあり方について今の時代に照らし、思想と実践をどう受け継いでいくのかというご講演をいただきました。参加された協力団体の方からは「生協の精神を学ぶ良い機会になった」と好評をいただき、50周年を迎えた全労済の活動の原点を見直す素晴らしいきっかけとなりました。



田辺館長の記念講演



祝賀会風景

祝賀会 「全・労・済!」の掛け声で次の世代へ

祝賀会では「全・労・済」3樽の酒を「ゼン・ロウ・サイ!」の掛け声で一斉に鏡開きを行いました。また、津軽三味線のアトラクションなどもあり、和やかな雰囲気の中で、50周年のお祝いを行うことができました。

勤労者福祉ネットワーク



徳島・子育て応援団

会員募集中

ファミリー・サポート・センターとは

「子育てのお手伝いをしてほしい人」と「子育てのお手伝いがしたい人」がお互いに助け合う会員組織です。子育て中の家族が安心して、子育てと仕事の両立ができるよう相互援助活動を有償で行うものです。

ファミリー・サポート・センターは各市町村の委託事業で会員登録が必要です。

会員の条件は

依頼会員…

0歳から12歳までの子どもの送迎や預かりをして欲しい人。

提供会員…

心身共に健康で子育て支援に熱意があり自宅で子どもを預かれる人。

両方会員…

預けたり、預かったりの両方を兼ねてできる人。



お問い合わせ・お申込

平成20年4月1日
広域化!

徳島ファミリー・サポート・センター

(徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町)

TEL088-611-1551
〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
労働福祉会館 4F

板野東部ファミリー・サポート・センター

(藍住町・北島町・松茂町・板野町)

TEL088-693-3033
〒771-1203 板野郡藍住町奥野字矢上前32-1
藍住勤労女性センター内

阿南ファミリー・サポート・センター

TEL0884-24-5550
〒774-0033 阿南市富岡町今福寺40-17
阿南市福祉会館2F

鳴門ファミリー・サポート・センター

TEL088-683-0788
〒772-0002 鳴門市撫養町斎田字岩崎146

美馬ファミリー・サポート・センター

TEL0883-53-2528
〒779-3610 美馬市脇町大字脇町1303-3
美馬市脇町庁舎2F

緊急サポートほっとステーション

厚労省委託を受け
県内全域を対象に事業を実施

安心して育児をしながら働き続けることができる環境づくりを目的としています。病児・病後児、急な残業や出張などでの宿泊を伴う預かりなど緊急時に対応するものです。



〈問い合わせ・申込〉

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
労働者福祉会館 4F

(財)徳島市勤労者福祉ネットワーク内
TEL088-611-2313 FAX088-611-3323

徳島生活あんしん倶楽部

「くーぼん丸。」では、徳島県の子育て支援事業とも連携し、子育て世帯の『家計応援』と『生活福祉情報の提供』を重点に置きながら、暮らしの安心とゆとりの実現をお手伝いします。



県内すみずみまで利用拡大をはかり、子育てに優しく、暮らしやすい環境づくりのお手伝いができるよう一層の充実を図っていきます。

〈問い合わせ〉

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
労働者福祉会館内 4F

(財)徳島市勤労者福祉ネットワーク内
TEL088-655-9009 FAX088-611-3323

労働福祉会館 勤労者の「城」として新たにリニューアル!

別館で“健康で元気なシニアの活動”を …第38回定期総会開催…

徳島県労働福祉会館第38回通常総会が、5月23日、徳島県労働福祉会館において開催され、38名が参加しました。

藤原理事の開会挨拶の後、藤森申二連合徳島副事務局長を議長に選出、この後、主催者を代表して大松長勝理事長が挨拶を述べました。続いて来賓の挨拶に移り、徳島県から林商工労働部次長、徳島市から小野木経済部労政課長より祝辞をいただきました。

引き続き、議案審議に移り、第1号議案「2007年度事業報告決算報告並びに監査報告について」(久積育郎専務理事)、(阿佐喜八郎監事)、第2号議案「2008年度運動方針(案)並びに予算(案)について」(久積専務理事)の報告と提案があり、第3号議案「役員改選の件について」もすべての議案が満場一致で承認されました。

会館管理業務の委託は「壮生」に決定しました。「壮生」とは、①シニアの健康づくり②シニア

の生きがいサポート③シニアの仕事サポート④シニアの交流の場づくりを大きな4本柱として、高齢者の生きがいづくりや社会参加を図る事業に取り組んでいる団体です。



〈徳島県労働福祉会館役員〉

役職名	氏名	所属
理事長	川越敏良	日本労働組合総連合会徳島県連合会会長
常務理事	辻博史	徳島県共済生活協同組合
理事	大松長勝	徳島県共済生活協同組合理事長
〃	藤原学	四国労働金庫常務理事
〃	久積育郎	(社)徳島県勤労者福祉協議会会長
〃	枋谷旭	(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク専務理事
〃	小松義明	日本労働組合総連合会徳島県連合会事務局長
監事	岡村睦喜	徳島県共済生活協同組合常務理事
〃	阿佐喜八郎	四国労働金庫徳島営業本部長



あなたのくらし応援します!

編集に当たって ~リニューアル~

労福協って何しているところ?どんな団体?どこにあるの?などなど?????にお応えしたい!そんな思いで今回「労福協ニュースがリニューアル」しました。それぞれの団体からよりわかりやすく団体の取り組みやメリットを紹介させていただきます。労福協は働く人の生活、子育てや介護など、暮らしと仕事の両立をサポートします。

●ジョブサポート事業部

仕事なんでも相談室 088-625-5112
(フリーダイヤル) 0120-783-072
ジョブとくしま無料職業紹介所 088-652-4510
とくしま就業支援センター 088-625-8387
徳島県若者サポートステーション 088-602-0553

●ライフサポート事業部

なのはな居宅介護支援センター 088-611-7087
なのはなヘルパーステーション 088-611-7087
とくしま次世代育成支援センター 088-625-8387
徳島西部ライフサポートセンター 0883-72-8611

笑顔

「もっとなりたい自分になるために」 いい年を重ねていこう!

ふと気づいたときに、いいオーラを発している「もっとなりたい自分」と同時に「自分が人生の主演、ヒロイン」として自覚が生まれれば今まで以上に輝いた自分に出会えます。年を単にとるものと考えただけじゃなく、素敵に重ねていくものにしようと考えを変えることで、いくつになっても「なりたい自分」づくりのチャンスは増えるのです。

全労済徳島県本部では 皆さまざまのご来店をお待ちしています。

ZENROSAI NEWS

**全労済窓口では、
こんな相談やお手続きができます。**

- 全労済の各種共済についてのご相談とご加入手続き
- ご契約の各種変更手続き ●ご契約の更新手続き
- 保障の見直しのご相談など

マイカー共済など、各種共済のお見積りは無料です。



※バイクなどの自賠責共済の取り扱いも行っています。

保障の見直しは全労済徳島県本部まで。

全労済 窓口まで
お気軽にお越しください。

お取り扱い

全労済 徳島県本部

(徳島県共済生活協同組合)

F7770042 徳島市昭和町3丁目1-1 労働福祉会館1F

TEL.088-625-2340

営業時間：9:00~17:00 (土曜・日曜 祝日を除く)



●昭和町3丁目バス停 下車徒歩1分。駐車場有り。

例えば
こんなときに!?

- ! 「詳しく共済商品のことを聞きたい!」
- ! 「申込書類の書き方がよくわからない!」
- ! 「毎月の掛金はどのように支払うの?」
- ? 「保障の見直しってよく聞くんだけど、何から始めればいいのか?」
- ? 「現在の保障内容を手厚くするにはどうすればいいのか?」
- ? 「毎月支払う掛金を安くするためには、どうすればいいのか?」

全労済徳島県本部の情報をご覧いただけます。

全労済徳島県本部ホームページ

▶ <http://www.zenrosai-tokushima.jp>

このキーワードで
検索してください。

とくしまろうさい

徳島6031



ZEMS
Zenrosai Environmental Management System

全労済は全国で環境保全活動に取り組んでいます。

全労済は、営利を目的としない協会の形態として非営利事業運営。組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資者を支援したいという多様な環境共生の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

あなたにも、
ろうきん。

いっしょに生きてゆける
金融機関を知っていますか。

はたらく人の、生活応援バンク **R** ろうきん

ろうきんイメージモデル 高田麗子

発行 社団法人 **徳島県労働者福祉協議会**

徳島市昭和町3丁目35-1 (労働福祉会館内)
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://tokushima.rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 久積育郎
印刷者 フォトプリント白石